

## 主の御名を賛美しま

す。名古屋は連日30℃を超える猛暑日が続いていますが、皆さんはいかがお過ごしですか？



私は先日、教会でエアコンをつけ忘れてしまう日が続き、人生で初めて熱中症と診断されしばらく寝込んでいました…。微熱、吐き気、めまい、食欲不振…もう二度と経験したくありません。(泣) 皆さんもエアコンのつけ忘れには気をつけてくださいね。(今は元気になりました！)



そんな私も、6月で名古屋に来てから丸2年が経過しました。引っ越してきた当初は、教会側もまた私自身もどんな働きをすべきなのか、0から手探りの状態で始まりましたが、日々デボーションや祈りの中で示されることや、教会の皆さんと話す中で見えてくるものもあり、2年経ってやっと自分のなすべき働きが見えてきたように思います。



私の知っているユースパスターやユーススタッフは、司会の進行が上手だったり、イキイキと人前に立って話をする方が多く、自分とは対照的な

姿に悩んだこともありましたが、でも、その理想像に当てはめるのではなく、今自分のできる精一杯のものをささげていけばいいのだ…と気づくことができたのもこの2年間での収穫です。

1コリント12:31には「あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。」とあります。賜物を求め、用いていく中でこれから先の道が見えていくことも教えられる今日この頃です。まだまだ名古屋緑福音教会の皆さんにはお世話になりそうですが、これからもよろしく願いします^^

## -6月の主なはたらき-

- 6/2-4 トーマス師ご夫妻来日
  - 6/8 カンガルークラブ子育てセミナー
  - 6/25 ハロハロパーティー (奏楽)
- ※一部抜粋

## 6月2日から4日まで

は、昨年10月にも名古屋に来てくださった米国BIC (アメリカにある教団本部) から再びトーマス師ご夫妻が来てくださり、共に交わりのときをもちました。



今回の日程では土日も挟み、土曜日はザンビア宣教の様子を夕食を囲みながら伺い、日曜日では一般礼拝でもメッセージを語っていただきました。



◀トーマス先生が教えてくださったアフリカ音楽に合わせて、みんなでダンス体験^^ 踊っていくうちに楽しくなってきたみんなノリノリ♪



◀ノリノリなのは大人も子どもも関係ないようです、笑 子どもたちは教えてもらったダンスに、独自のアレンジを加えて楽しく踊っていました^^

日曜日の礼拝では「BICのアイデンティティ」と題して、1コリント12:12-21のみことばからメッセージを語っていただきました。

私たちの教会ではBIC教団の理念を定期的に学ぶ機会を設けてきましたが、トーマス師から直接メッセージを受け取ることで、より一層理解が深められたように感じます。

語られたメッセージの中で特に印象的だったのが、「教団・教派も神様からの賜物だ」という言葉でした。私は今まで「教団・教派はあってはいけないものだ。いずれはひとつになるべきだ」と考えていたので、

written by manyamo

この言葉はかなり衝撃でした。

この日開かれたみことばには「器官は多くあるが、からだはひとつである」と書かれており、それと同様に教団・教派にはそれぞれに与えられた役目や働きがあることを教えられました。

BICに属する教会は日本にはわずかですが、私たちの教会も、その役目と働きを理解しながら教会を建て上げていきたいと強く思わされたメッセージでした。



また、6月8日には昨年12月にも講演をしてくださった西岡まり子師を再びお招きし、今回はカンガルークラブ（子育てサークル）に来てくださっているママ向けに「素敵な家庭のためにできること」と題してセミナーを行いました。

現在日本では「三組に一組は離婚している」と言われているそうです。そんな中、より良い夫婦関係を築いていくためには何をすべきなのか？何が大切なのか？様々な統計型をもとに考える時間となりました。統計調査によると、1日15分の夫婦の会話が月10万円の昇給の満足度に相当するそうです…。それほど、夫婦の会話は大切なのだということを教えられました。

私は、西岡師が最後に読まれた箴言12:18にあるみことばが心に留まりました。「軽率に話して剣で刺すような者がいる。しかし知恵のある人の舌は人をいやす。」自分本位の表現ではなく、相手を思いやる言葉を選んでいくことの大切さもまた、教えられました。

当日は20名を超える参加者が与えられ、感謝でした。直接イエス様のみことばを伝えていくことも教会としてとても大事な働きですが、来てくださっている方の悩みに寄り添い、共にその問題に向き合い、祈っていくことも教会の大切な働きだなあと改めて思われるセミナーとなりました。



また、6月8日には昨年12月にも講演をしてくださった西岡まり子師を再びお招きし、今回はカンガルークラブ



そして、25日には6月のイベント「ハロハロパーティー」を行いました。



◀もう定番になってきた転がしドッチ！ボールを転がすので、狭い場所でも危険を冒すことなく楽しく遊べます^^幼稚園さんにも人気のゲーム！



◀可愛いペンギんさんが登場！！今回はイベントにちなんでハロハロじゃんけんをやってくれました。ペンギんさんと同じポーズだと負け。



◀メッセージはW兄がイザヤ43:4のみことばから、神様はそのままの私たちを愛してくれていることを語ってくれました。



◀ハロハロパーティーも、毎年この時期の恒例イベントになってきました^^盛り付けの腕もなんとなく上がってきたような…！？

今回はおともだち38名、ユース5名、大人17名の計60人の参加でした。

### -7月の主なはたらき-

- 7/2 オープンチャーチチラシ配布
  - 7/17 オープンチャーチ ☆
  - 7/26-31 中高アウトキャンプ奉仕@MBC ☆
- ※一部抜粋。7月は☆印のみ報告します。

7月17日には夏の一大イベント・オープンチャーチが行われました！

教会創立30周年をきっかけに2012年から始められたこのイベントも、今や私たちの教会の恒例イベントとなっています^^

今年は2年ぶりに流しそうめんが復活し、集会では昨年引き続きユースによる人形劇も上演されたり…と、準備も大規模なものになりました。



written by manyamo





◀ジャンけん列車というゲーム中。MEBIGの賛美を歌いながらやります。負けると勝った人の肩に掴まり、その列がどんどん長くなっていき…。



◀演奏・司会は全てユースで担当しました。前日のリハーサルでは曲が始まるタイミングやプログラムの順番などを細かく確認。



◀人形劇が始まる前に、お約束事の寸劇を披露！このクソツと笑える寸劇のおかげで、来てくれたおともだちとの心の距離がグッと縮まります。

今回の人形劇は、聖書に書かれている「失われた1匹を探すために99匹を残して探しに行く…」という箇所をもとに上演しました。



5月下旬から練習を開始しましたが、みんな忙しく、全員が揃うタイミングがほぼない中で、できる限りの練習を重ねてきました。

今回もTCU（東京基督教大学）の人形劇サークルから人形劇セットを貸していただき、その台本をもとに練習してきましたが、練習を重ねるうちに「ここはこういう小道具があったらいいね」

「こういう演出があった方がいいんじゃないか」といった意見をユースのみんなと交わしながらできたことが感謝でした。

人形劇が終わった後は、その補足としてマタイ18:13のみことばから、少しお話をさせていただきました。



人形劇には、自分勝手な理由で迷子になってしまったうさぎのぴよん子が登場します。そんなぴよん子を、羊飼いのお兄さんは99匹の羊を牧場に残して、あらゆる危険を冒してまで必死に探し回り、遂に見つけ出して喜ぶ…というのがあらすじです。命がけで見つけ出してくれた羊飼いのお兄さんのように、神様もみんな一人一人のことを大切に思ってくれているんだよ…ということをお話しました。

私もメッセージを準備しながら、人ではなく神様の目にはどう見られているのか…という部分に引き戻されるときとなりました。

毎年、全体で50人を想定して準備しているオープンチャーチですが、今年は104名の方が教会に集いました。数が全てではありませんが、こうして多くの方に種まきができたことを嬉しく思います。続けて祈っていきたいです。

7月26日からは、中

高アウトキャンプ（松原湖バイブルキャンプ主催）の奉仕に行ってきました。



私が初めて参加したキャンプがアウトキャンプ（屋外でテントを張って過ごすキャンプ）だったこともあり、ここ数年はアウトキャンプで奉仕する機会が多く与えられています、、、（笑）

今回は日本長老教会さがみ野キリスト教会の牧師である中村信哉師を講師にお迎えし、29名のキャンパーと共に4泊5日を過ごしてきました。



松原湖のアウトキャンプでは、時計もスマートフォンも回収され、プログラムは一切キャンパーに知らされません。「鐘が鳴ったら集合」というルールだけが存在し、そこで始めて次のプログラムが発表されるのです。私は毎回アウトキャンプに参加する度に、普段いかに多くのものに気を取られているか…ということに気づかされます。

「どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。」というルカ10:42のみことばをいつも思い出します。

そんな不思議な環境の中で語られるみことばは、不思議とキャンパー一人一人の心に届いていきます。最終夜には証し会がもたれましたが、一人一人の決心が再び遣わされていく場所でも支えられていくように、確かなものになっていくように…と願います。

また、今年は体調が守られたことも感謝でした…。（笑）

written by manyamo